

LUXMAN

CONTROL AMPLIFIER

C-1000f

このたびは、ラックスマンのコントロール・アンプリファイヤー C-1000fをお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は、保証書・安全上のご注意と共に大切に保管してください。

目 次

使用上の注意	3
各部の名称と用途	4
リモコンの名称と用途	10
リモコンについて	23
接続図／接続方法	24
C-1000f BLOCK DIAGRAM	28
規格	31
アフターサービスと品質保証について	32
修理に出される前に	33

使用上の注意

アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。

とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなどの高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

入出力機器接続時のご注意

本機と CD プレーヤー、チューナーなどの入力機器およびパワーアンプなどの出力機器を接続するときには、本機と入力機器および出力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。

本機と入力機器および出力機器に電源が入っていると、大きな雑音が発生することがあります。

また、本機の入出力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。入力機器の出力端子と出力機器の入力端子に差し込むピンプラグも同様です。

ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因になります。

アンプ電源 ON 後すぐには音が出ません

本機には、電源オン後アンプが安定した状態になるまでの間、入力回路および出力回路を切り離すためのタイム・ミューティング回路が組み込まれていて、オペレーション・インジケーターが青色に点滅かつ WARMING UP 表示をして準備動作中であることを示します。

このタイム・ミューティング回路が動作している間に本機の音量ボリュームを大きな値に設定していると、動作状態になったときに急に大きな音が出てくることになります。

本機の音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてからお好みの音量に調節してください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。

なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

安全上のご注意



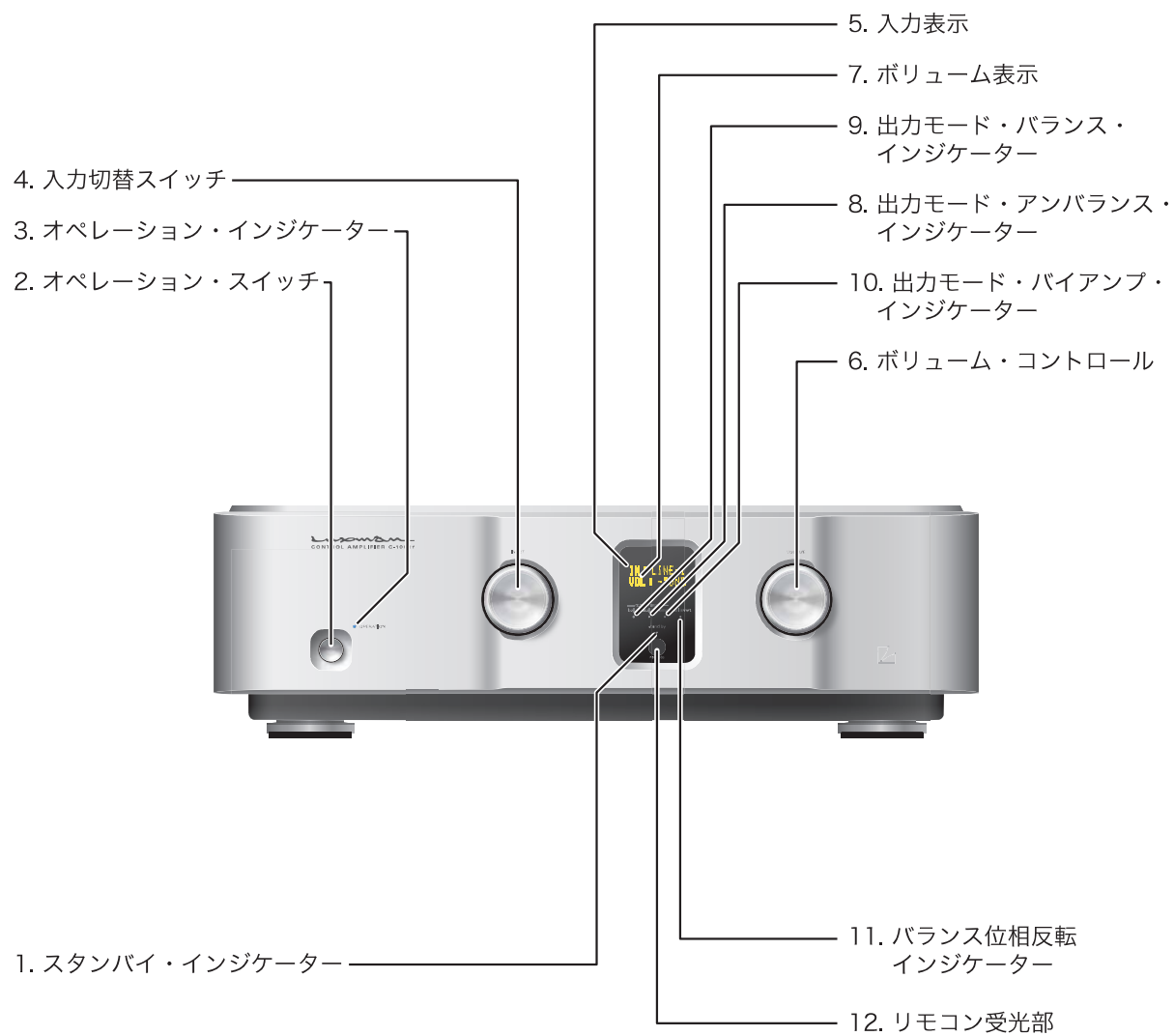
警告



本機は重いので開梱や持ち運び、設置は、必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。

各部の名称と用途

フロントパネル



各部の名称と用途

1. スタンバイ・インジケーター／stand by

リアパネルにあるメイン電源スイッチを ON にすると、このインジケーターが黄色に点灯し、スタンバイ状態になったことを示します。

メイン電源スイッチを OFF にすると、このインジケーターが消灯して、シャットダウン状態であることを示します。

2. オペレーション・スイッチ／OPERATION

スタンバイ状態のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケーターが消灯しかつ WARMING UP が表示され準備動作に入ります。一定時間（約 30 秒）経過すると各モードの設定が表示され、動作状態となります。

動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

3. オペレーション・インジケーター／OPERATION

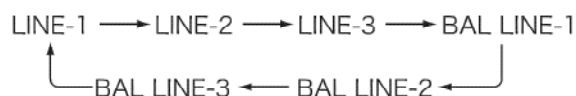
スタンバイ状態のときにオペレーション・スイッチを押すと青色に点滅して準備動作中であることを示します。一定時間（約 30 秒）経過すると青色に点灯して動作状態であることを示します。

動作状態のときにもう一度オペレーション・スイッチを押すとこのインジケーターが消灯しスタンバイ・インジケーターが点灯します。

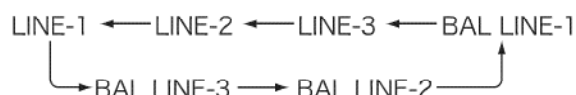
4. 入力切替スイッチ／INPUT

リアパネルにあるアンバランス入力端子 LINE-1, LINE-2, LINE-3 とバランス入力端子 BAL LINE-1, BAL LINE-2, BAL LINE-3 を選択する入力セクタースイッチです。

・右に回すと LINE-1→LINE-2→LINE-3→BAL LINE-1→BAL LINE-2→BAL LINE-3→LINE-1……と変化します。



・左に回すと LINE-1→BAL LINE-3→BAL LINE-2→BAL LINE-1→LINE-3→LINE-2→LINE-1……と変化します。



工場出荷時は、LINE-1 に設定されています。

このスイッチを切り替えると入出力ミュート回路が作動し、約 0.8 秒間、音がでません。

5. 入力表示／IN：

いま選択されている入力端子を表示します。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ・ LINE-1 のときは、IN：LINE-1 | ・ BAL LINE-1 のときは、IN：BAL.-1 |
| ・ LINE-2 のときは、IN：LINE-2 | ・ BAL LINE-2 のときは、IN：BAL.-2 |
| ・ LINE-3 のときは、IN：LINE-3 | ・ BAL LINE-3 のときは、IN：BAL.-3 |

6. ボリューム・コントロール／VOLUME

本機出力レベルを調節するコントロールノブです。

このノブを回転させると出力レベルが変化します。

・ 右に回すと、ミュート→-71dB→0dB と 1dB ステップで音量が大きくなります。

・ 左に回すと、0dB→-71dB→ミュート と 1dB ステップで音量が小さくなります。

工場出荷時は、ミュート状態に設定されています。

7. ボリューム表示／VOL：

現状の出力レベルを 1dB ステップで表示します。

- ・ -- はミュート状態を示し、音はでません。
- ・ -71dB が最も小さい音量で 0dB が最大音量となります。

工場出荷時は、ミュート状態に設定されていますので最初にオペレーション状態にしたときは -- を表示します。

8. 出力モード・アンバランス・インジケータ／－ OUTPUT MODE － unbal

音楽が出力される端子がアンバランス出力端子の LINE-1 と LINE-2 であることを青色に点灯して示します。

工場出荷時は、アンバランス出力モードに設定されています。

出力モードの選択は、リモコンでおこないます。P-11 の出力モード・スイッチ／OUTPUT MODE を参照してください。

9. 出力モード・バランス・インジケータ／－ OUTPUT MODE － bal

音楽が出力される端子がバランス出力端子の BAL LINE-1 と BAL LINE-2 であることを青色に点灯して示します。

10. 出力モード・バイアンプ・インジケータ／－ OUTPUT MODE － bi-amp

音楽が出力される端子がアンバランス出力端子の LINE-1 と LINE-2 であることと、出力端子 LINE-1 と LINE-2 がバイアンプ用の出力モードになっていることを青色に点灯して示します。

出力モードがバイアンプになっているときは、

- ・ 出力端子の LINE-1 の L が、L ch の LOW 用出力になります。
- ・ 出力端子の LINE-1 の R が、R ch の LOW 用出力になります。
- ・ 出力端子の LINE-2 の L が、L ch の HIGH 用出力になります。
- ・ 出力端子の LINE-2 の R が、R ch の HIGH 用出力になります。

プリセットについては P-19 のバイアンプ出力モード／BI-AMP のチャンネル・プリセットの方法を参照してください。

11. バランス位相反転インジケータ／ bal invert

バランス入力とバランス出力の位相が本機のノーマル設定に対して、逆相になっていることを青色に点灯して示します。

工場出荷時のバランス位相は、ノーマルに設定されています。

バランス位相の選択は、リモコンでおこないます。P-13 のバランス位相反転スイッチ／BAL OUT PHASE を参照してください。

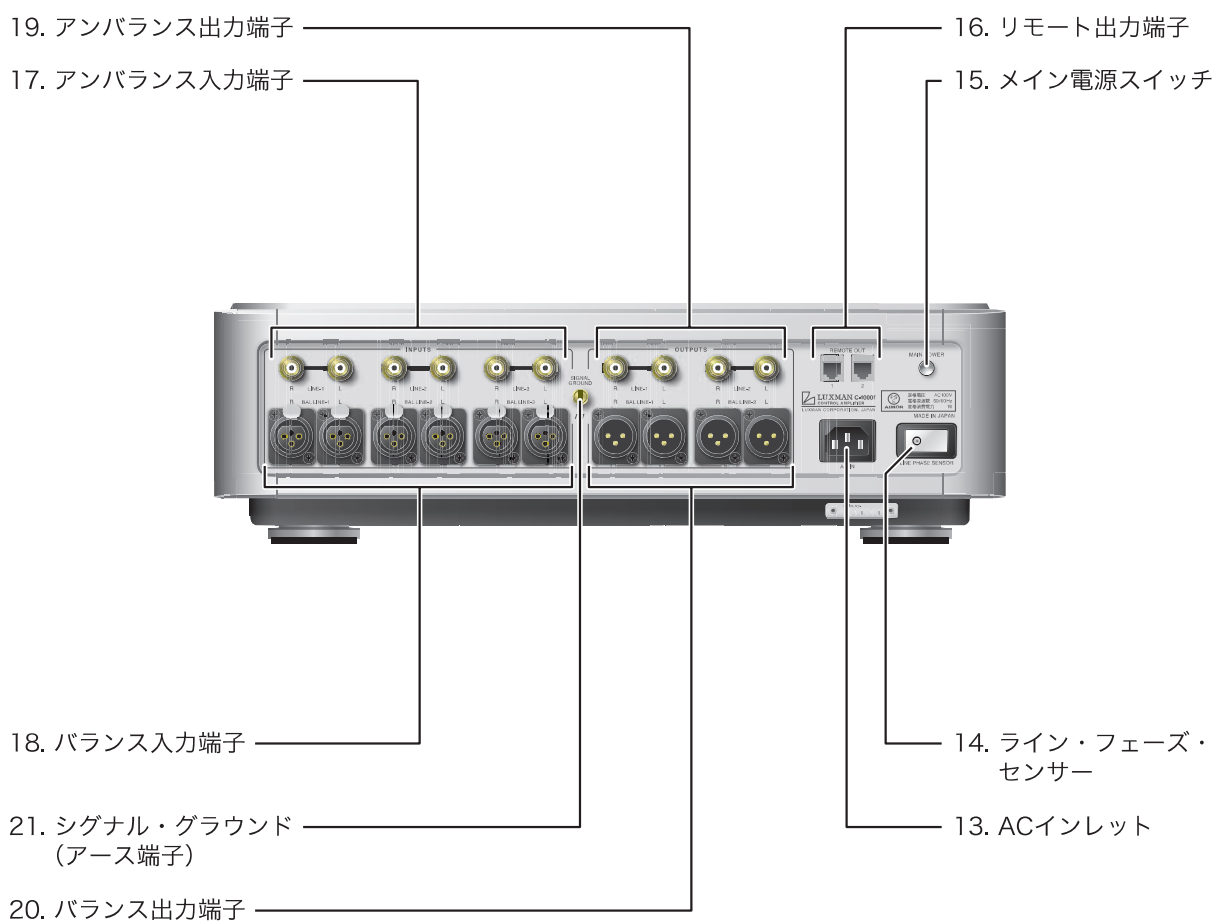
12. リモコン受光部／remote

リモコンからの光信号を受光するレシーバーがこの位置に設置されていますので、リモコンの発光部をこの位置に向けてリモコン操作を行ってください。

リモコン受光部がマスクされているとリモコン操作が確実に行われない場合がありますので、この位置の近くに置物など置かないようにしてください。

各部の名称と用途

リアパネル



各部の名称と用途

13. AC インレット／AC IN

付属の電源ケーブルを接続します。

電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

14. ライン・フェーズ・センサー／LINE PHASE SENSOR

電源ケーブルを AC コンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケーターです。

電源ケーブルを本機の AC インレットと AC コンセントに差し込んだ後に指でセンサーにかかるく触れ、インジケーターが消えたままであれば正常な極性です。インジケーターが点灯する場合は、AC コンセントへの電源プラグの差し込みを逆にしてください。

電源極性のチェックは、他の機器からの影響を取り除くため、他の機器との接続前におこなってください。

また、マンションなど、電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。このような場合は、どちらの極性にしてもさしつかえありません。

15. メイン電源スイッチ／MAIN POWER

本機をスタンバイ状態にするためのメイン電源スイッチです。

このスイッチを ON にすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケーターが黄色に点灯し、本機がスタンバイ状態になったことを示します。

このスイッチを OFF にすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケーターが消灯し、シャットダウン状態になったことを示します。

16. リモート出力端子／REMOTE OUT

このリモート出力端子に専用リモート入力端子のあるパワーアンプ (B-1000f など) と専用リモートケーブルで接続すると、本機のオペレーション・スイッチに連動して受給側パワーアンプの電源を ON/OFF することができます。

このリモート出力端子からの ON 信号は、本機のオペレーション・スイッチを押してから約 20 秒後に発信されますので、受給側パワーアンプのミューティング時間に約 20 秒を加えた時間を経過した後に受給側パワーアンプが ON になります。

リモート出力端子は、2 つ用意されていて、同時に 2 台のパワーアンプを ON/OFF することができます。

受給側パワーアンプの動作可能設定については、受給側パワーアンプのオーナーズマニュアルを参照してください。

17. アンバランス入力端子／INPUTS (LINE-1, LINE-2, LINE-3)

ラインレベルのアンバランス音楽信号を入力するコアキシャル入力端子で、全部で LINE-1、LINE-2、LINE-3 の 3 系統用意されています。

CD プレーヤーなどの入力機器のアンバランス出力をピンプラグケーブルを使用し接続してください。

LINE-1、LINE-2、LINE-3 に入力された音楽信号は、フロントパネルにある入力切替スイッチで選択され出力されます。

LINE-1、LINE-2、LINE-3 は同等の品質であり、お好みの入力端子にお好みの入力機器を接続してください。

18. バランス入力端子／INPUTS (BAL LINE-1, BAL LINE-2, BAL LINE-3)

ラインレベルのバランス音楽信号を入力するキャノンコネクター入力端子で、全部で BAL LINE-1、BAL LINE-2、BAL LINE-3 の 3 系統用意されています。

CD プレーヤーなどの入力機器のバランス出力をバランスケーブルを使用し接続してください。BAL LINE-1、BAL LINE-2、BAL LINE-3 に入力された音楽信号は、フロントパネルにある入力切替スイッチで選択され出力されます。

BAL LINE-1、BAL LINE-2、BAL LINE-3 は同等の品質であり、お好みの入力端子にお好みの入力機器を接続してください。

19. アンバランス出力端子／OUTPUTS (LINE-1, LINE-2)

本機のアンバランス音楽信号を出力するコアキシャル出力端子で、全部で LINE-1、LINE-2 の 2 系統用意されています。

パワーアンプなどの出力機器のアンバランス入力にピンプラグケーブルを使用して接続してください。

LINE-1、LINE-2 に出力される音楽信号は、リモコンにある出力モード切替スイッチで選択され出力されます。

出力モード	LINE-1 L ch	LINE-1 R ch	LINE-2 L ch	LINE-2 R ch
アンバランス	L ch の音がでます	R ch の音がでます	L ch の音がでます	R ch の音がでます
バランス	音がでません	音がでません	音がでません	音がでません
パイアンプ	L ch の LOW 用の音がでます	R ch の LOW 用の音がでます	L ch の HIGH 用の音がでます	R ch の HIGH 用の音がでます

LINE-1、LINE-2 は同等の品質であり、お好みの出力端子にお好みの出力機器を接続してください。

工場出荷時の出力モードは、アンバランスに設定されています。

20. バランス出力端子／OUTPUTS (BAL LINE-1, BAL LINE-2)

本機のバランス音楽信号を出力するキャノンコネクター出力端子で、全部で BAL LINE-1、BAL LINE-2 の 2 系統用意されています。

パワーアンプなどの出力機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。

BAL LINE-1、BAL LINE-2 に出力される音楽信号は、リモコンにある出力モード切替スイッチで選択され出力されます。

出力モード	BAL LINE-1 L ch	BAL LINE-1 R ch	BAL LINE-2 L ch	BAL LINE-2 R ch
アンバランス	音がでません	音がでません	音がでません	音がでません
バランス	L ch の音がでます	R ch の音がでます	L ch の音がでます	R ch の音がでます
パイアンプ	音がでません	音がでません	音がでません	音がでません

BAL LINE-1、BAL LINE-2 は同等の品質であり、お好みの出力端子にお好みの出力機器を接続してください。

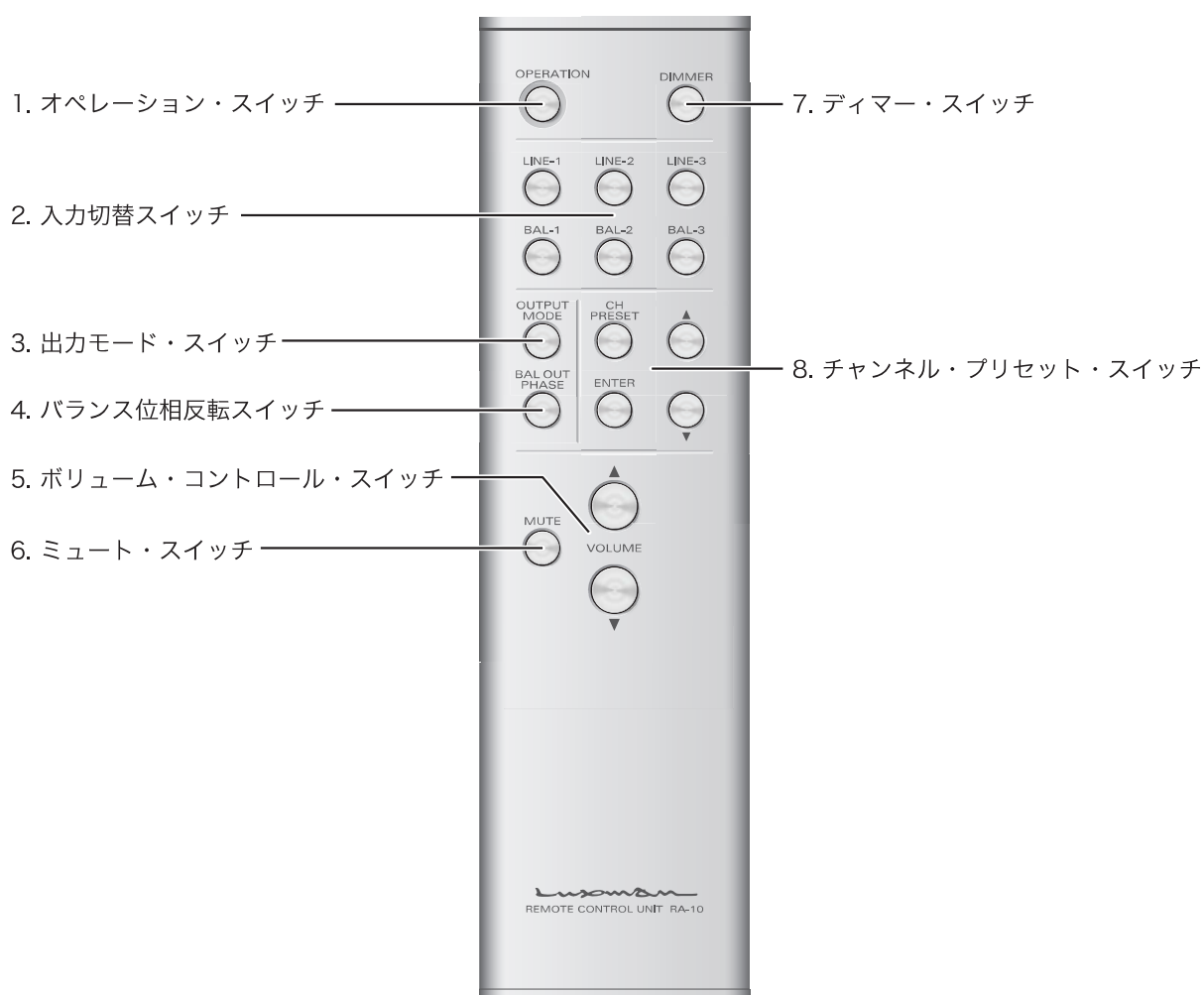
工場出荷時の出力モードは、アンバランスに設定されています。

21. シグナル・グラウンド（アース端子）／SIGNAL GROUND

本機に接続する機器のアース用端子です。

この端子は、他の機器を接続した場合の雑音低減をはかるためのもので、安全のためのアースではありません。

リモコンの名称と用途



リモコンの名称と用途

1. オペレーション・スイッチ／OPERATION

スタンバイ状態のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータが消灯し、オペレーション・インジケータが点滅を開始しかつ WARMING UP が表示され準備動作に入ります。一定時間（約 30 秒）経過するとオペレーション・インジケータが点灯し各モードの設定が表示され、動作状態となります。動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

WARMING UP

2. 入力切替スイッチ／LINE-1, LINE-2, LINE-3, BAL-1, BAL-2, BAL-3

リアパネルにあるアンバランス入力端子 LINE-1, LINE-2, LINE-3 とバランス入力端子 BAL LINE-1, BAL LINE-2, BAL LINE-3 を選択する入力セレクトスイッチです。

- ・ LINE-1 を押すと、LINE-1 が選択されます。
- ・ LINE-2 を押すと、LINE-2 が選択されます。
- ・ LINE-3 を押すと、LINE-3 が選択されます。
- ・ BAL-1 を押すと、BAL LINE-1 が選択されます。
- ・ BAL-2 を押すと、BAL LINE-2 が選択されます。
- ・ BAL-3 を押すと、BAL LINE-3 が選択されます。

IN: LINE-1
VOL: -71dB

IN: BAL.-1
VOL: -71dB

このスイッチを切替えると入出力ミューティング回路が作動し、約 0.8 秒間、音がでません。

3. 出力モード・スイッチ／OUTPUT MODE

アンバランス出力、バランス出力、バイアンプ出力の 3 種類の出力モードを切替えるスイッチです。

このスイッチを押す度に、UNBAL → BAL → BI-AMP → UNBAL……と変化します。

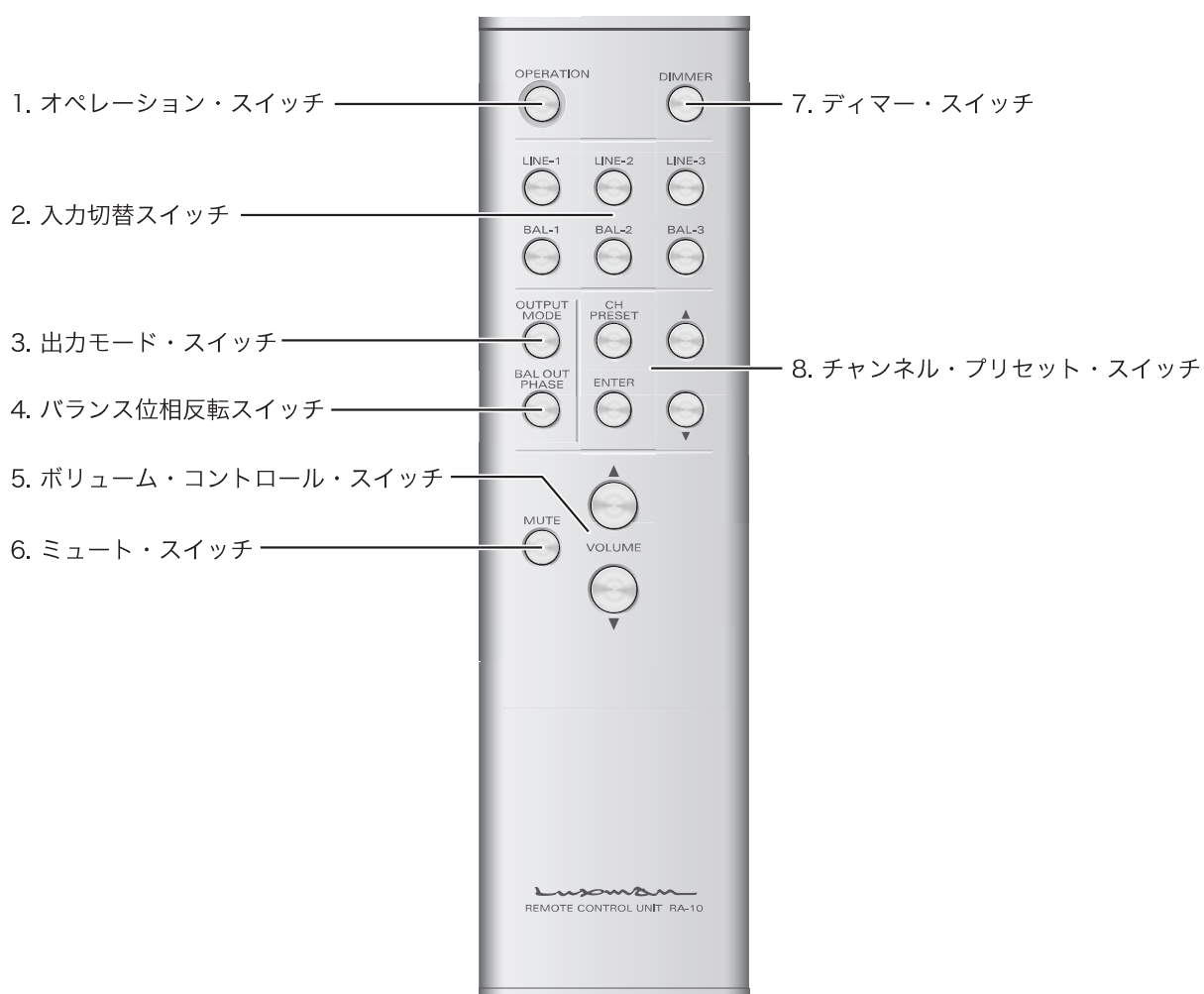
- ・ アンバランス出力／UNBAL
アンバランス出力の LINE-1 と LINE-2 から音楽が出力されます。
- ・ バランス出力／BAL
バランス出力の BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音楽が出力されます。
- ・ バイアンプ出力／BI-AMP
アンバランス出力の LINE-1 と LINE-2 から音楽が出力されます。
LINE-1 L ch から L ch の LOW 用の音出力されます。
LINE-1 R ch から R ch の LOW 用の音出力されます。
LINE-2 L ch から L ch の HIGH 用の音出力されます。
LINE-2 R ch から R ch の HIGH 用の音出力されます。

入力切替スイッチがバランスの場合、バイアンプ出力には切替できません。

入力切替スイッチをラインに切替えてから出力モードを切替えてください。工場出荷時は、アンバランス出力（UNBAL）に設定されています。

このスイッチを切替えると入出力ミューティング回路が作動し、約 0.8 秒間、音がでません。出力モードごとにチャンネル・プリセットの設定値は記憶されます。

リモコンの名称と用途



リモコンの名称と用途

4. バランス位相反転スイッチ／BAL OUT PHASE

本機に接続される入出力機器のバランス位相と本機のバランス位相を合わせる必要があります。

本機のバランス位相を反転しなければいけないときに、このスイッチを押して本機のバランス位相を逆相にします。

- ・ 本機のノーマル設定 3PIN：＋
 2PIN：－
 1PIN：GROUND

・ 下表に従ってノーマル設定とインバート設定をお選びください。

入力機器の位相	出力機器の位相	本機の出カモード	本機の位相設定
BAL 出力：3PIN＋	BAL 入力：3PIN＋	BAL	ノーマル
BAL 出力：2PIN＋	BAL 入力：2PIN＋	BAL	ノーマル
BAL 出力：3PIN＋	BAL 入力：2PIN＋	BAL	インバート
BAL 出力：2PIN＋	BAL 入力：3PIN＋	BAL	インバート
BAL 出力：3PIN＋	UNBAL 入力	UNBAL	ノーマル
BAL 出力：2PIN＋	UNBAL 入力	UNBAL	インバート
UNBAL 出力	BAL 入力：3PIN＋	BAL	ノーマル
UNBAL 出力	BAL 入力：2PIN＋	BAL	インバート

このスイッチを切替えると入出力ミューティング回路が作動し、約 0.8 秒間、音がでません。

5. ボリューム・コントロール・スイッチ／VOLUME

本機の出力量レベルを調節するスイッチです。

このスイッチを押すと出力レベルが変化します。

- ・▲を押すと、ミュート→-71dB→0dBと1dBステップで音量が大きくなります。
- ・▼を押すと、0dB→-71dB→ミュートと1dBステップで音量が小さくなります。
- ・▲、▼を押し続けると音量を早く調節することができます。連続押しの場合、-71dB⇔-36dBまでの変化は高速で変化します。-36dB⇔-18dBまでの変化は若干遅くなり、-18dB⇔0dBまでの変化は遅く変化します。
- ・各チャンネルの実際のレベルは、ボリューム表示値にチャンネル・プリセットでの設定値を加減算した値になります。

IN: BAL.-1
VOL: 0dB

IN: BAL.-1
VOL: -71dB

IN: BAL.-1
VOL: --dB

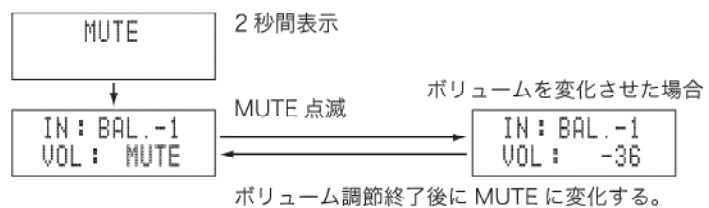
オペレーション状態からスタンバイ状態に切替えた時は、ボリュームレベルを記憶します。また、スタンバイ状態からメイン電源スイッチを切った場合も、ボリュームレベルを記憶します。オペレーション状態からスタンバイを経由せずにメイン電源スイッチを切った場合、ボリュームレベルはミュートにセットされます。

6. ミュート・スイッチ／MUTE

一時的に現在の音量を記憶したまま消音するためのスイッチです。

消音している時に、もう一度ミュート・スイッチを押すと元の音量で音楽が出力されます。

ミュート中にボリュームを変化させても、ボリューム量は変化しますが、ミュートは解除されません。



7. ディマー・スイッチ／DIMMER

本体表示の明るさを調節します。消灯から通常の点灯まで明るさを4段階に切替えられます。

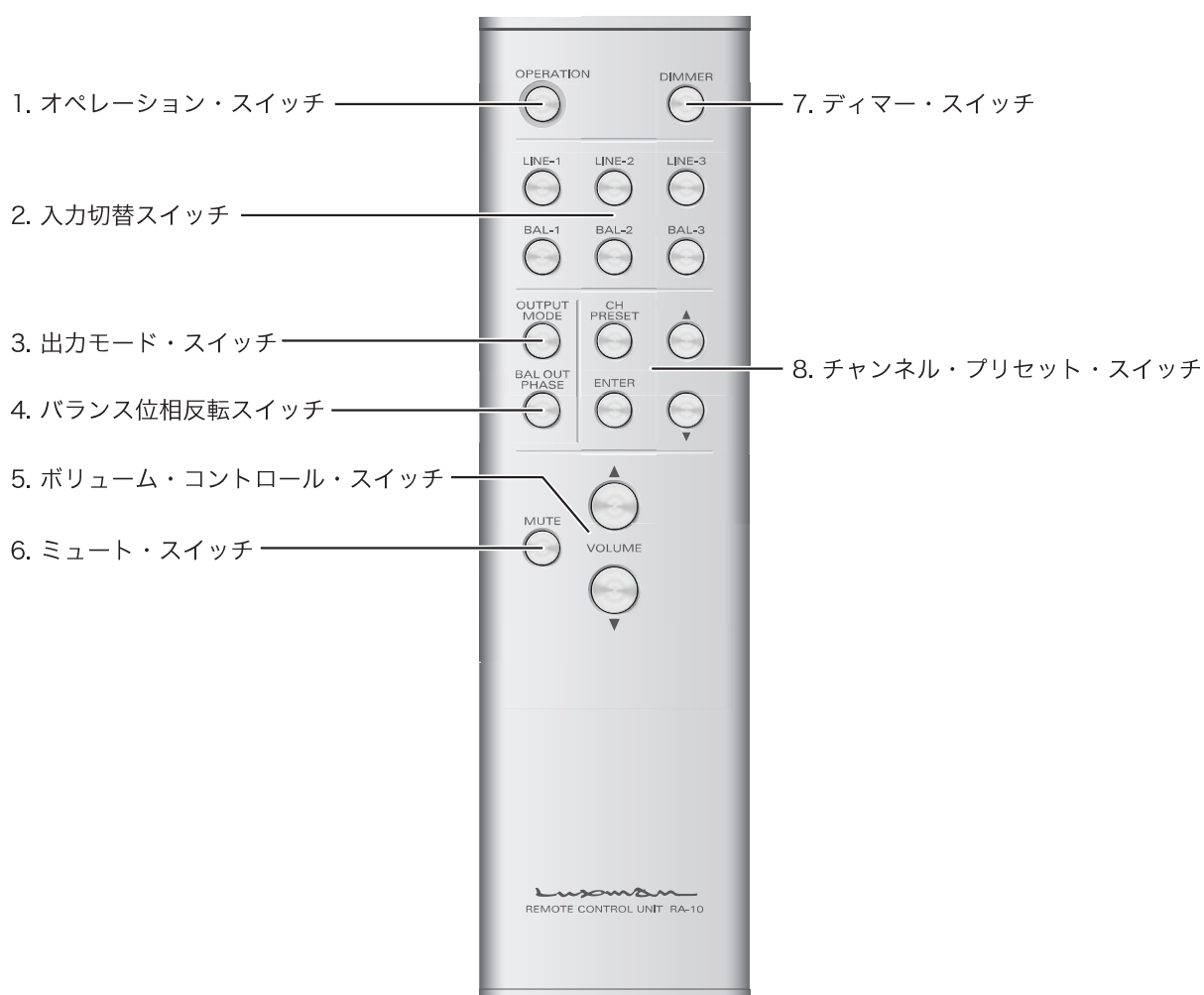
1回押すごとに、通常→やや暗い→かなり暗い→消灯→通常→……と変化します。

表示を消灯すると、DISPLAY OFFの文字が2秒間表示されその後に消灯します。

DISPLAY
OFF

2 秒間表示

リモコンの名称と用途



リモコンの名称と用途

8. チャンネル・プリセット・スイッチ／CH PRESET

出力モードに合わせた各チャンネルごとのレベル調節をおこなうときもしくは終了するときにこのスイッチを押します。

エンター・スイッチ／ENTER

調節する際、レベルやモードを決定するときにこのスイッチを押します。

▲スイッチ／UP

▼スイッチ／DOWN

調節する際、レベルを変化させるときにこのスイッチを押します。

・アンバランス出力モード／UNBAL

L ch と R ch 各々のレベル設定をすることにより左右の音量バランスを調節します。

・バランス出力／BAL

L ch と R ch 各々のレベル設定をすることにより左右の音量バランスを調節します。

・バイアンプ出力／BI-AMP

BI-AMP 調節モードと LR BALANCE 調節モードがあり、順番に調節できます。

BI-AMP 調節モード

L-HIGH (高域用) ch と R-HIGH (高域用) ch のレベル調節をします。

L-HIGH (高域用) ch はアンバランス出力・LINE-2 の L ch から出力されます。

R-HIGH (高域用) ch はアンバランス出力・LINE-2 の R ch から出力されます。

L-LOW (低域用) ch と R-LOW (低域用) ch のレベルは 0dB に固定されています。

L-LOW (低域用) ch はアンバランス出力・LINE-1 の L ch から出力されます。

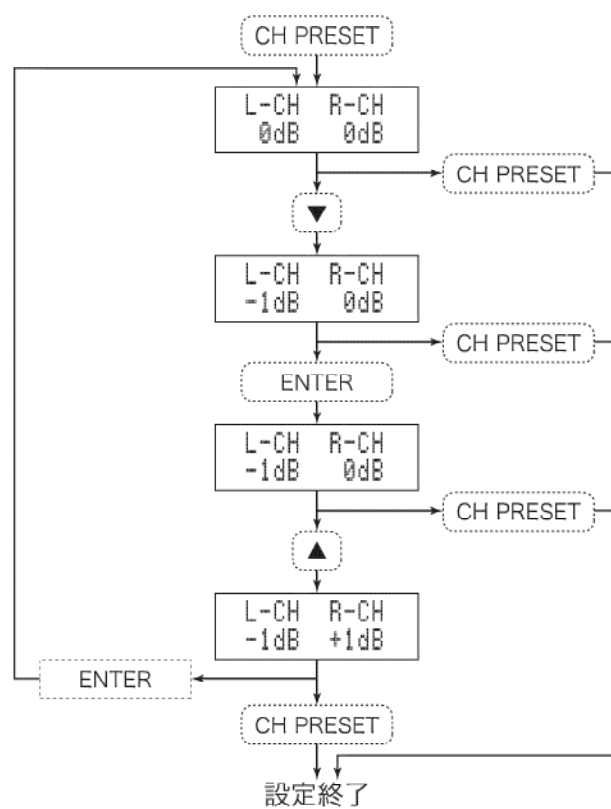
R-LOW (低域用) ch はアンバランス出力・LINE-1 の R ch から出力されます。

LR BALANCE 調節モード

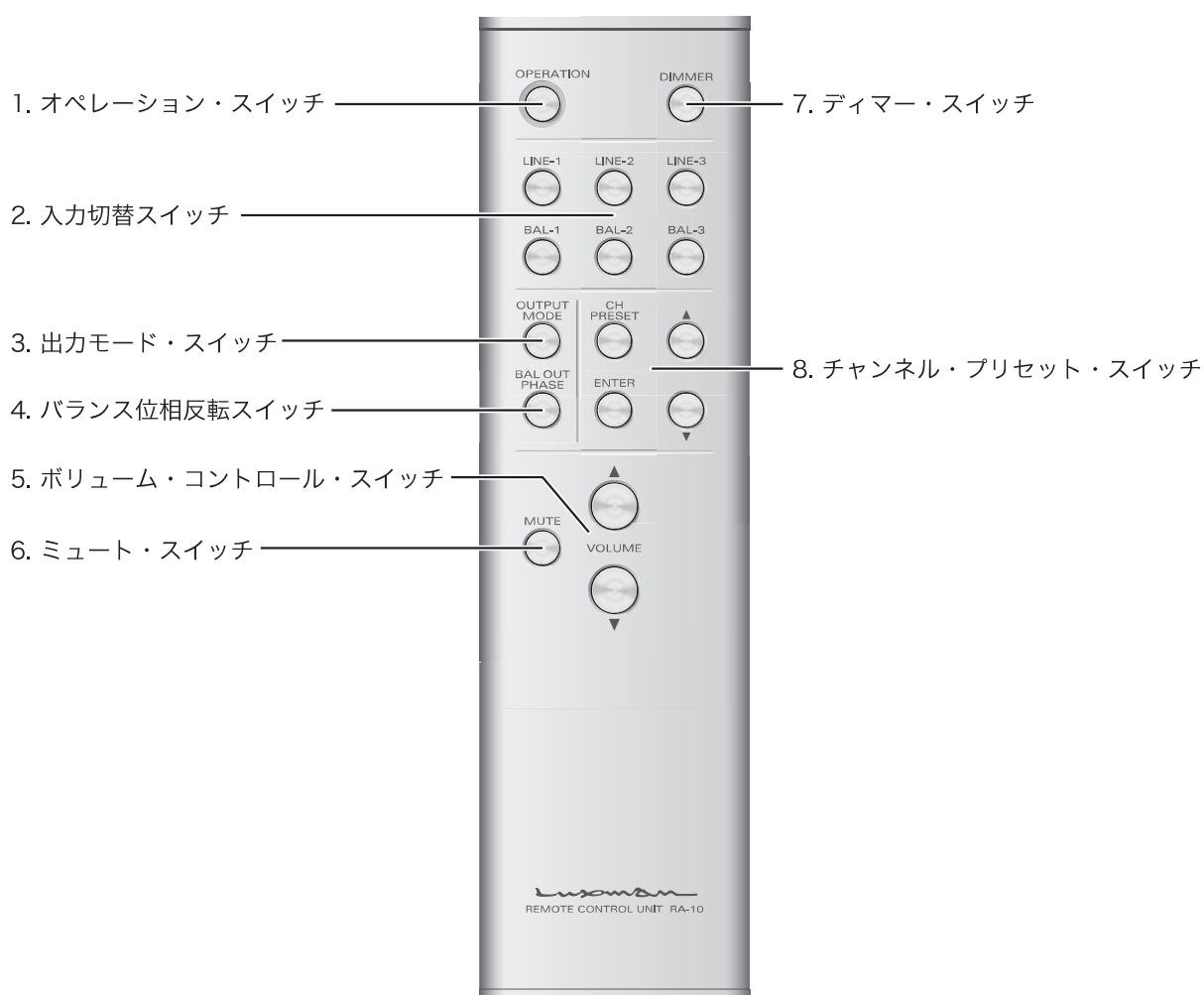
L ch と R ch 各々のレベル設定をすることにより左右の音量バランスを調節します。

9. アンバランス出力モード／UNBAL のチャンネル・プリセット方法 バランス出力モード／BAL のチャンネル・プリセット方法

- (1) 出力モードがアンバランスもしくはバランスの時に CH PRESET スイッチを押します。
右図の 1 段目の表示に変わり、プリセット・モードになります。
L-CH のレベルが点滅し、L ch のレベル調節が可能になります。
- (2) ▲を押すと、1dB ステップで L ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで L ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▼を一度押すと、-1dB の表示になります。(右図の 2 段目の表示)
- (3) ENTER を押すと、右図の 3 段目の表示に変わります。
R-CH のレベルが点滅し、R ch のレベル調節が可能になります。
- (4) ▲を押すと、1dB ステップで R ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで R ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▲を一度押すと、+1dB の表示になります。(右図の 4 段目の表示)
- (5) ここで、ENTER を押すと、(1) の調節に戻り、再度 L ch を調節できます。
- (6) どの状態でも、CH PRESET スイッチを押すとチャンネル・プリセットを終了します。
チャンネル・プリセット・モードのときに 1 分間入力をしないと事前の設定を記憶した状態でこのモードを抜け、通常表示に戻ります。



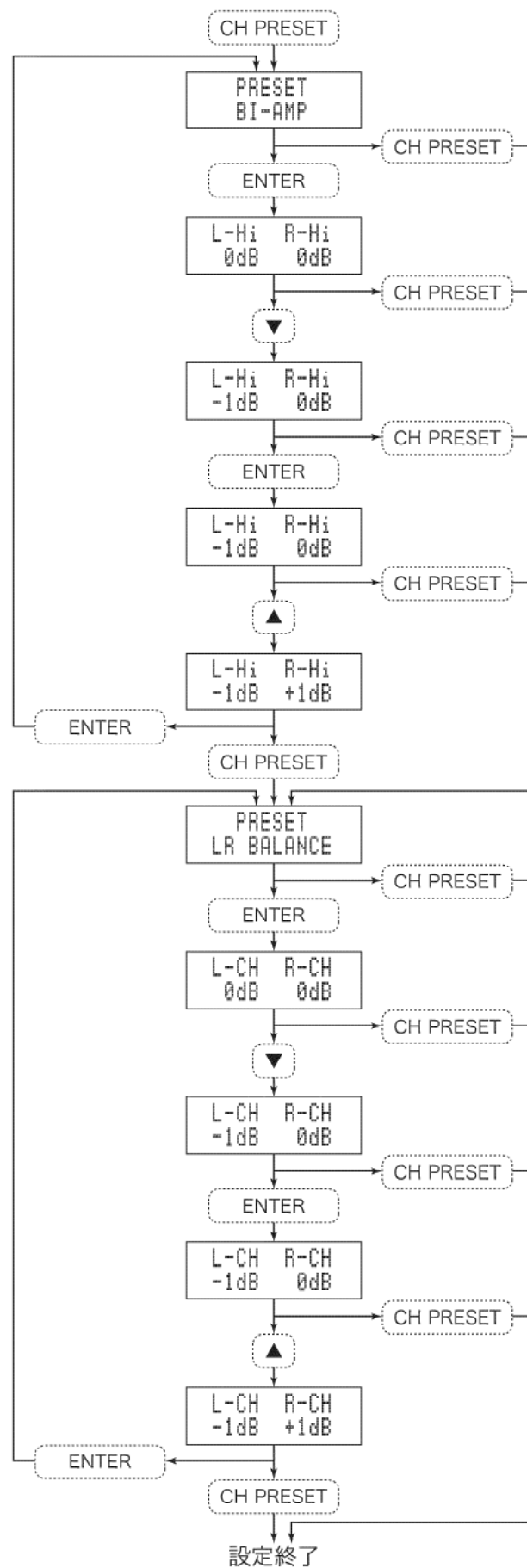
リモコンの名称と用途



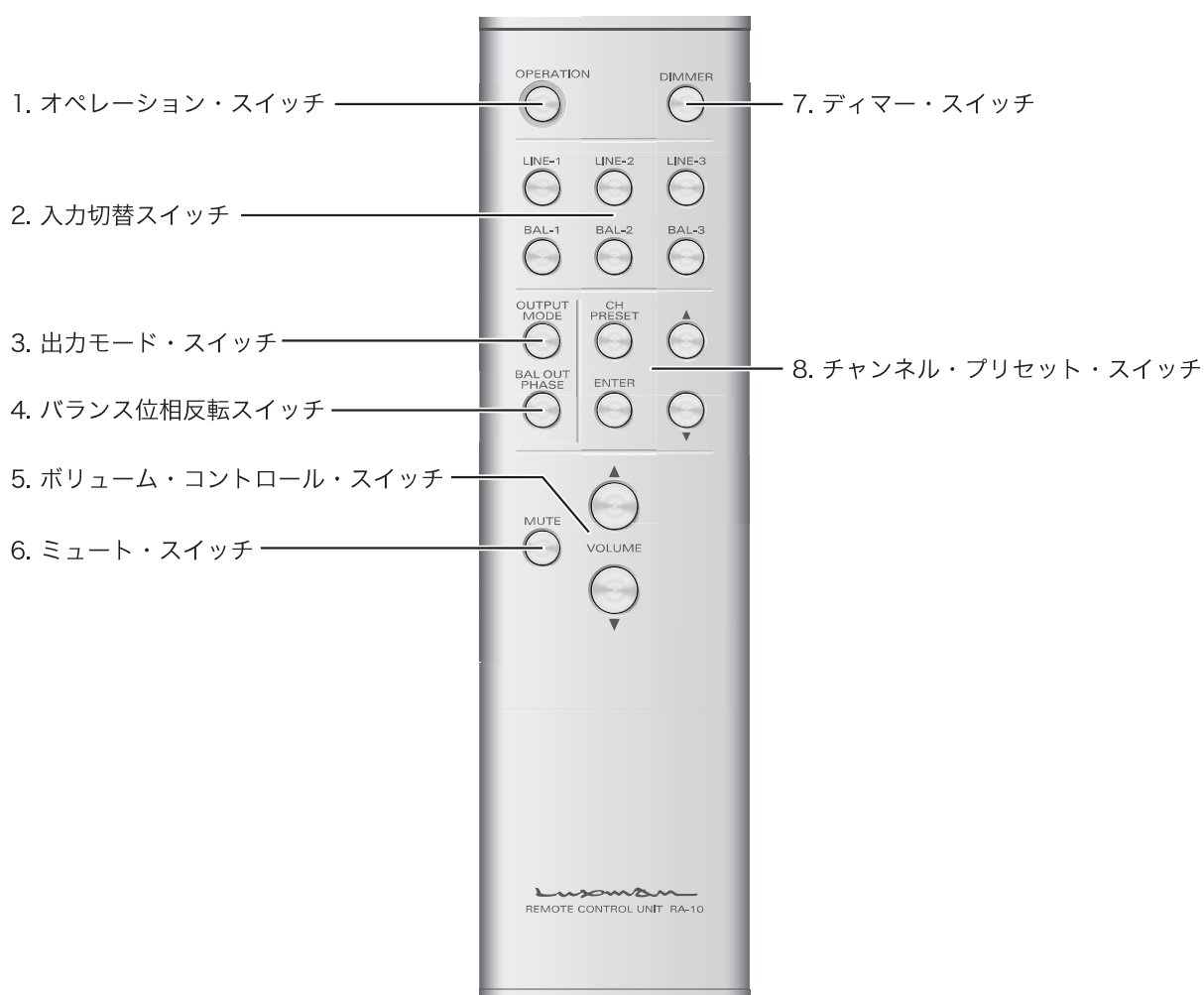
リモコンの名称と用途

10. バイアンプ出力モード／BI-AMP のチャンネル・プリセット方法

- (1) 出力モードがバイアンプのときに CH PRESET スイッチを押します。右図の 1 段目の表示に変わり、バイアンプのプリセット・モードになります。
L-Hi と R-Hi の調節の必要が無ければ、CH PRESET スイッチをもう一度押してください。
LR BALANCE 調節モードに移ります。
- (2) 次に ENTER を押すと右図の 2 段目の表示に変わり、L-Hi のレベルが点滅し、L-Hi ch のレベル調節が可能になります。
- (3) ▲を押すと、1dB ステップで L-Hi ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで L-Hi ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▼を一度押すと、-1dB の表示になります。(右図の 3 段目の表示)
- (4) ENTER を押すと、右図の 4 段目の表示に変わります。
R-Hi のレベルが点滅し、R-Hi ch のレベル調節が可能になります。
- (5) ▲を押すと、1dB ステップで R-Hi ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで R-Hi ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▲を一度押すと、+1dB の表示になります。(右図の 5 段目の表示)
- (6) ここで、ENTER を押すと、(1) の調節に戻り、再度 L-Hi ch からの調節ができます。
- (7) (1) ～ (5) どの状態でも、CH PRESET スイッチを押すと LR BALANCE 調節モードに移ります。
- (8) バイアンプのプリセット完了後に CH PRESET スイッチを押すと、右図の 6 段目の表示に変わり、LR BALANCE 調節モードになります。
LR BALANCE 調節の必要が無ければ、CH PRESET スイッチをもう一度押してください。
チャンネル・プリセットを終了し通常表示に戻ります。
- (9) 次に ENTER を押すと右図の 7 段目の表示に変わり、L-CH のレベルが点滅し、L ch のレベル調節が可能になります。
- (10) ▲を押すと、1dB ステップで L ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで L ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▼を一度押すと、-1dB の表示になります。(右図の 8 段目の表示)
- (11) ENTER を押すと、右図の 9 段目の表示に変わります。
R-CH のレベルが点滅し、R ch のレベル調節が可能になります。
- (12) ▲を押すと、1dB ステップで R ch の音量が大きくなります。
▼を押すと、1dB ステップで R ch の音量が小さくなります。
±6dB の範囲で調節可能です。
例) ▲を一度押すと、+1dB の表示になります。(右図の 10 段目の表示)
- (13) ここで、ENTER を押すと、(8) の調節に戻り、再度 L-CH からの調節ができます。
- (14) (8) ～ (12) のどの状態でも、CH PRESET スイッチを押すとチャンネル・プリセットを終了します。
チャンネル・プリセット・モードのときに 1 分間入力をしないと事前の設定を記憶した状態でこのモードを抜け、通常表示に戻ります。



リモコンの名称と用途



リモコンの名称と用途

11. 各設定の記憶

オペレーション OFF 時に記憶される直前設定を下記に示します。

項目	設定／値	例
INPUT	直前設定	LINE-1
OUTPUT MODE	直前設定	BALANCE
VOLUME	直前値	-36dB
CH PRESET	各設定の直前値	L-CH -1dB, R-CH +1dB
BAL INVERT	直前設定	INVERT
DIMMER	直前設定	やや暗い

- ・ MUTE は記憶されずオペレーション OFF とともに解除されます。
- ・ オペレーション・スイッチを経由せずに直接メイン電源スイッチを OFF した場合は、ボリュームの値を除き同様に記憶されます。なお、ボリュームの値はミュート状態に設定されます。

12. リセット方法

全ての設定、調節値を出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

- (1) 本機をスタンバイ状態にします。
- (2) 本体のオペレーション・スイッチを 5 秒以上押し続け、オペレーション・スイッチを押した状態でリモコンのディマー・スイッチを押します。
これで操作完了です。

工場出荷時の設定

項目	設定／値
INPUT	LINE-1
OUTPUT MODE	UNBALANCE
VOLUME	--dB
CH PRESET	0dB
BAL INVERT	OFF
MUTE	OFF
DIMMER	MAX (最大輝度)

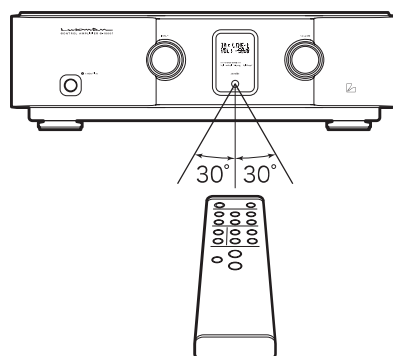
13. 禁止表示および注意

設定を変化させるときに、設定を変えることのできない場合があります。この場合、下表のようなエラー表示がでます。

現在の設定			変化しようとした設定	表示	注意
OUTPUT MODE	PHASE	INPUT			
UNBALANCE	NORMAL	LINE-1, -2, -3	BAL OUT PHASE	UNBALANCE MODE!!	アンバランス入力かつアンバランス出力のとき、位相は反転できません。
BI-AMP	NORMAL	LINE-1, -2, -3	INPUT SELECTOR BAL-1, -2, -3	BI-AMP MODE!!	OUTPUT MODE が BI-AMP のとき、バランス入力は選べません。
BI-AMP	NORMAL	LINE-1, -2, -3	BAL OUT PHASE	BI-AMP MODE!!	OUTPUT MODE が BI-AMP のとき、位相は反転できません。
UNBALANCE	NORMAL	BAL-1, -2, -3	OUTPUT MODE	IN: BAL-** VOL: -**dB (表示は変化しません)	バランス入力の場合、OUTPUT MODE を変化させても BI-AMP MODE にはなりません。

リモコンについて

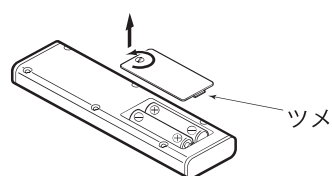
リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて、図の範囲でお使いください。



有効距離 約5m

乾電池の入れ方

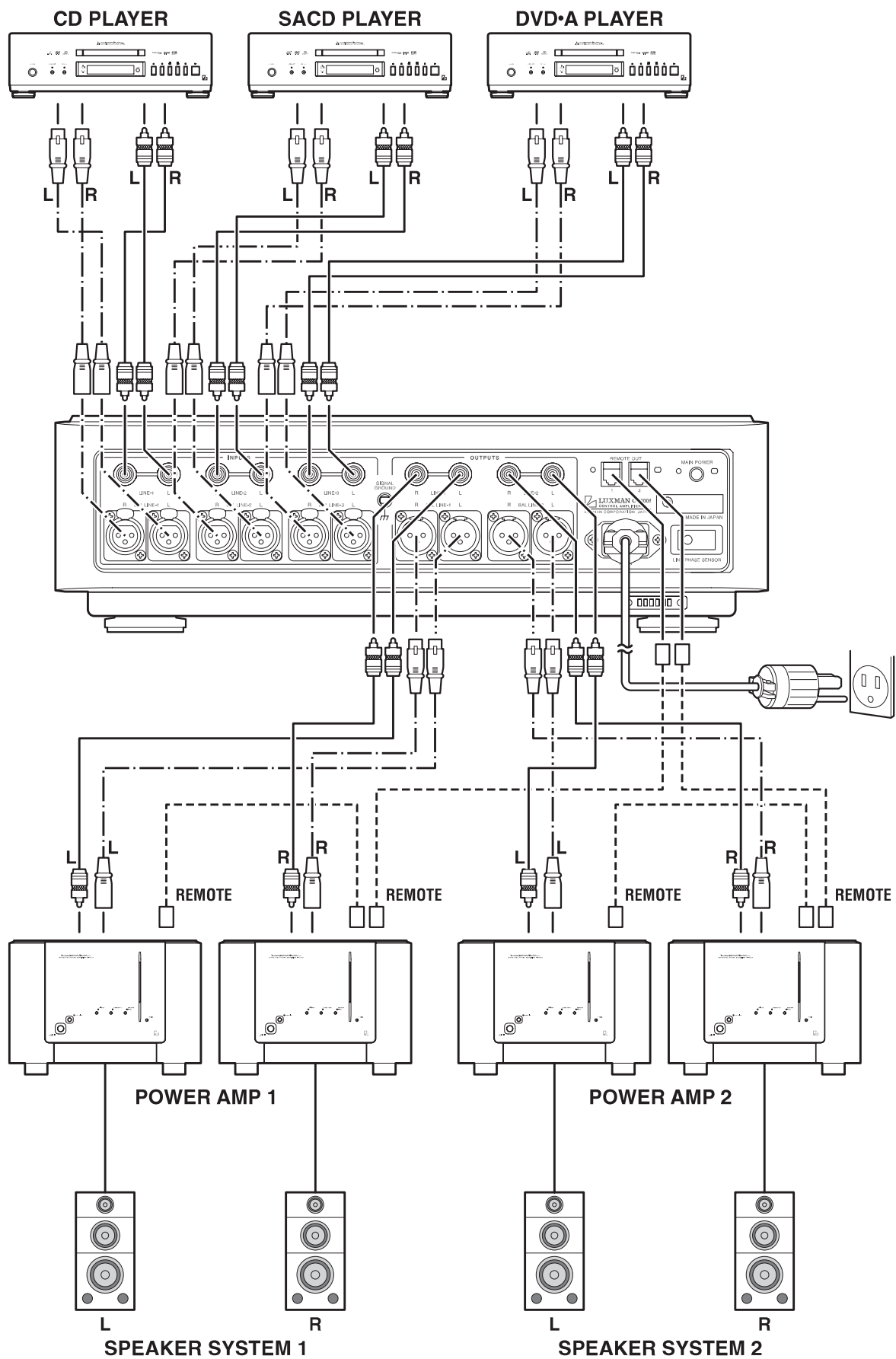
- (1) リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーのネジをコイン等でゆるめてはずしてください。
- (2) バッテリー・ケースの中の図と同じように単4乾電池を入れます。
- (3) バッテリー・カバーのツメをリモコン本体の凹に差し込みバッテリー・カバーを閉じネジをコイン等でしめてください。



※乾電池が消耗してくると、有効距離が短くなったり、スイッチを押しても動作しません。このようなときは、乾電池を2本とも新しいものに交換してください。

接続図

通常ステレオ再生



接続方法

接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V コンセントに差し込んでください。

電源ケーブルを差し込むときには、ライン・フェーズ・センサーを指先で軽く触れ、インジケータが消える方向に差し込んでください。

マンションなどのコンセントでは、AC プラグを差し替えても点灯したまま、消えたままのことがあります。この場合、どちらの方向でもかまいません。

入力端子と CD プレーヤーなどの入力機器との接続

CD プレーヤーなどの入力機器の出力端子と本機の入力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

本機に接続する入力機器の出力インピーダンスが十分低い場合は、接続ケーブルの長さを特別気にする必要はありませんが、出力インピーダンスの高い入力機器と組み合わせてご使用の場合は、不必要な高域の減衰を避けるために、できるだけ短い接続ケーブルをお使いになることをおすすめします。

出力端子とパワーアンプなどの出力機器との接続

パワーアンプなどの出力機器の入力端子と本機の出力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

リモート出力端子とパワーアンプとの接続

B-1000f などラックスマンのパワーアンプのリモート入力端子と本機のリモート出力端子をパワーアンプに付属している専用リモートケーブル（極性はありません）で接続します。

これにより、本機のオペレーション・スイッチに連動して、パワーアンプの電源を ON/OFF することができます。

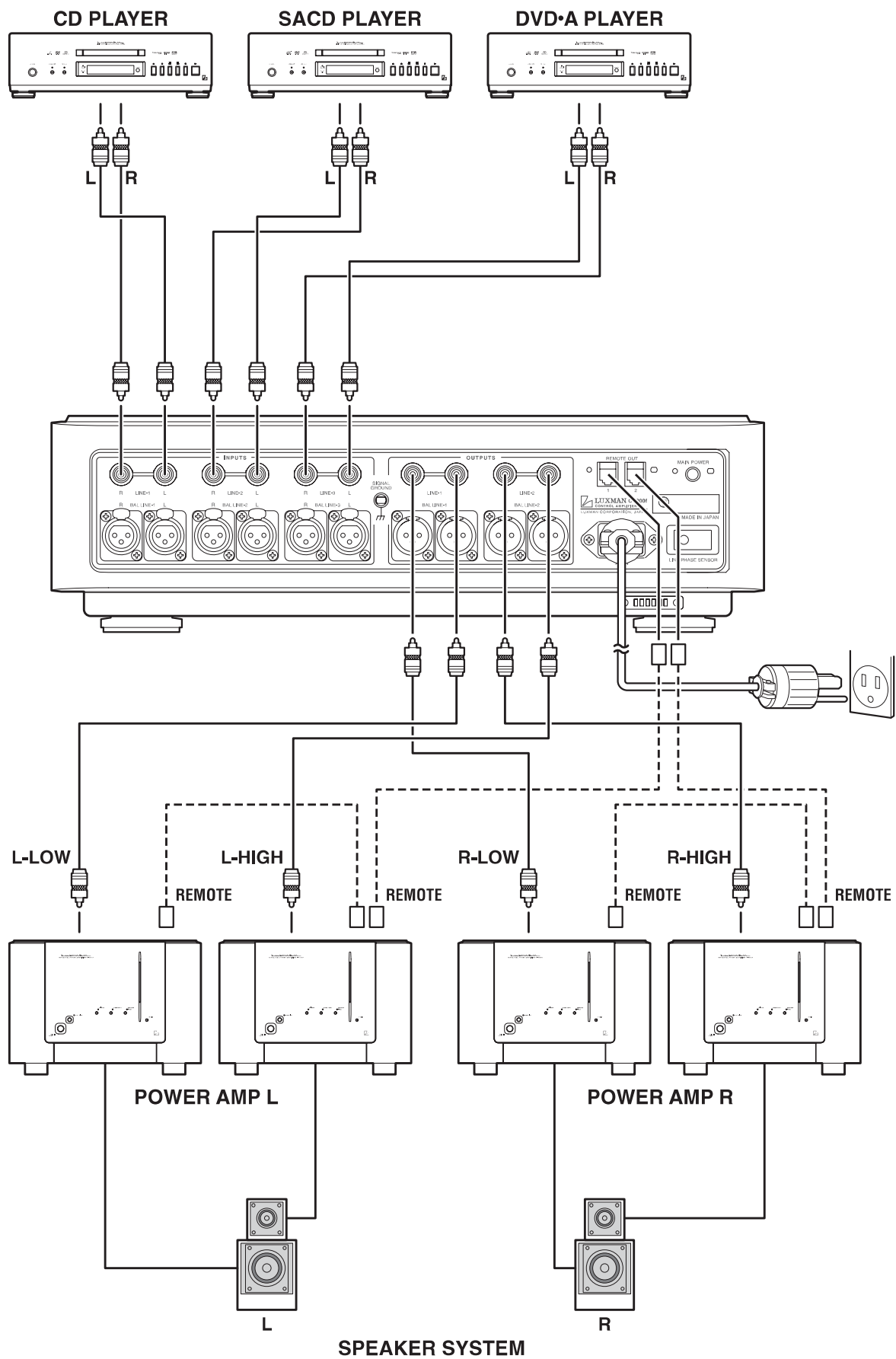
リモート出力端子は2系統ありますが、どちらも同じ信号を出力しますのでお好みでお使いください。

専用リモートケーブルは、ラックスマンのコントロールアンプとパワーアンプの接続以外に使用しないでください。本機のリモート出力がショートされるような端子に接続すると故障の原因となります。

過大入力からアンプとスピーカーを保護するために、本機と入出力機器を接続する場合は、本機のメイン電源スイッチを OFF にするか本機をスタンバイ状態にしてください。また、本機に接続する入出力機器の電源も OFF にしてください。接続完了後に正しく接続されていることを確認してから本機および入出力機器を動作状態にしてください。

接続図

バイアンプ・ステレオ再生



接続方法／バイアンプ・ステレオ再生

入力端子と CD プレーヤーなどの入力機器との接続

本機の出力モードをバイアンプで使用するとき、本機の入力端子はアンバランスのみ有効でバランス入力端子に接続しても音はでません。

CD プレーヤーなどの入力機器のアンバランス出力端子と本機のアンバランス入力端子の間を、ピンプラグケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

本機に接続する入力機器の出力インピーダンスが十分低い場合は、接続ケーブルの長さを特別気にする必要はありませんが、出力インピーダンスの高い入力機器と組み合わせてご使用の場合は、不必要な高域の減衰を避けるために、できるだけ短い接続ケーブルをお使いになることをおすすめします。

出力端子とパワーアンプなどの出力機器との接続

本機の出力モードをバイアンプで使用するとき、本機の出力端子はアンバランスのみ有効でバランス出力端子に接続しても音はでません。

パワーアンプなどの出力機器のアンバランス入力端子と本機のアンバランス出力端子の間を、ピンプラグケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意し接続してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

アンバランス出力端子の LINE-1 の L 端子が L チャンネルの低域用出力で、LINE-2 の L 端子が L チャンネルの高域用出力になります。同様に、LINE-1 の R 端子が R チャンネルの低域用出力で、LINE-2 の R 端子が R チャンネルの高域用出力になります。

L チャンネルと R チャンネルの高域用出力である LINE-2 の L 端子出力と LINE-2 の R 端子出力は、リモコンのプリセット操作で 1dB ステップ最大±6dB の音量調節ができます。

リモート出力端子とパワーアンプとの接続

B-1000f などラックスマンのパワーアンプのリモート入力端子と本機のリモート出力端子をパワーアンプに付属している専用リモートケーブル（極性はありません）で接続します。

これにより、本機のオペレーション・スイッチに連動して、パワーアンプの電源を ON/OFF することができます。

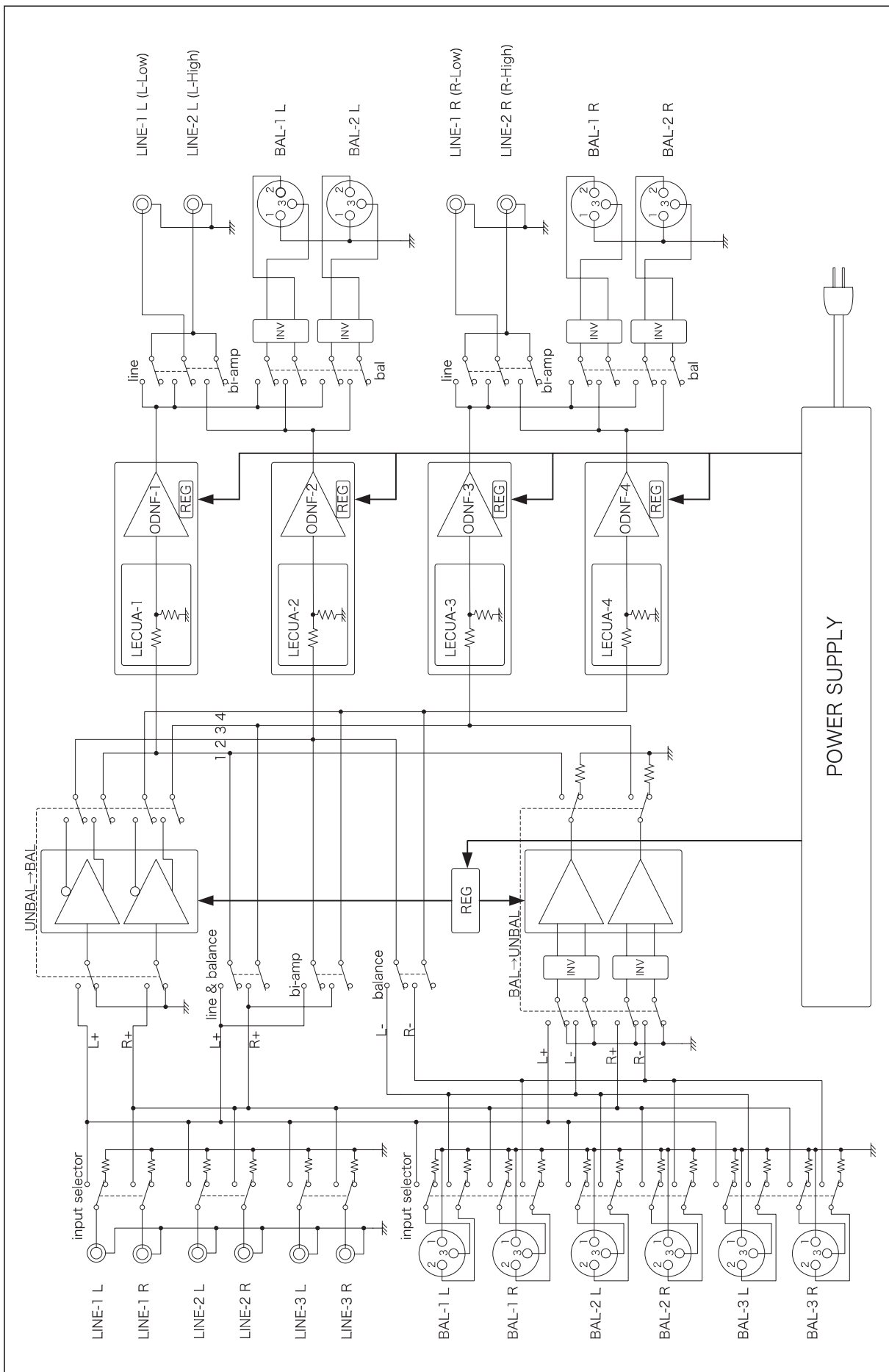
B-1000f のようなモノラル・パワーアンプの場合は、2 系統ある本機のリモート出力端子 1、2 と L チャンネルのどちらかのパワーアンプのリモート入力端子と R チャンネルのどちらかのパワーアンプのリモート入力端子と接続します。次にチャンネルごとに本機のリモート出力端子と接続したパワーアンプのリモート出力端子ともうひとつのパワーアンプのリモート入力端子を接続します。

リモート出力端子は 2 系統ありますが、どちらも同じ信号を出力しますのでお好みでお使いください。

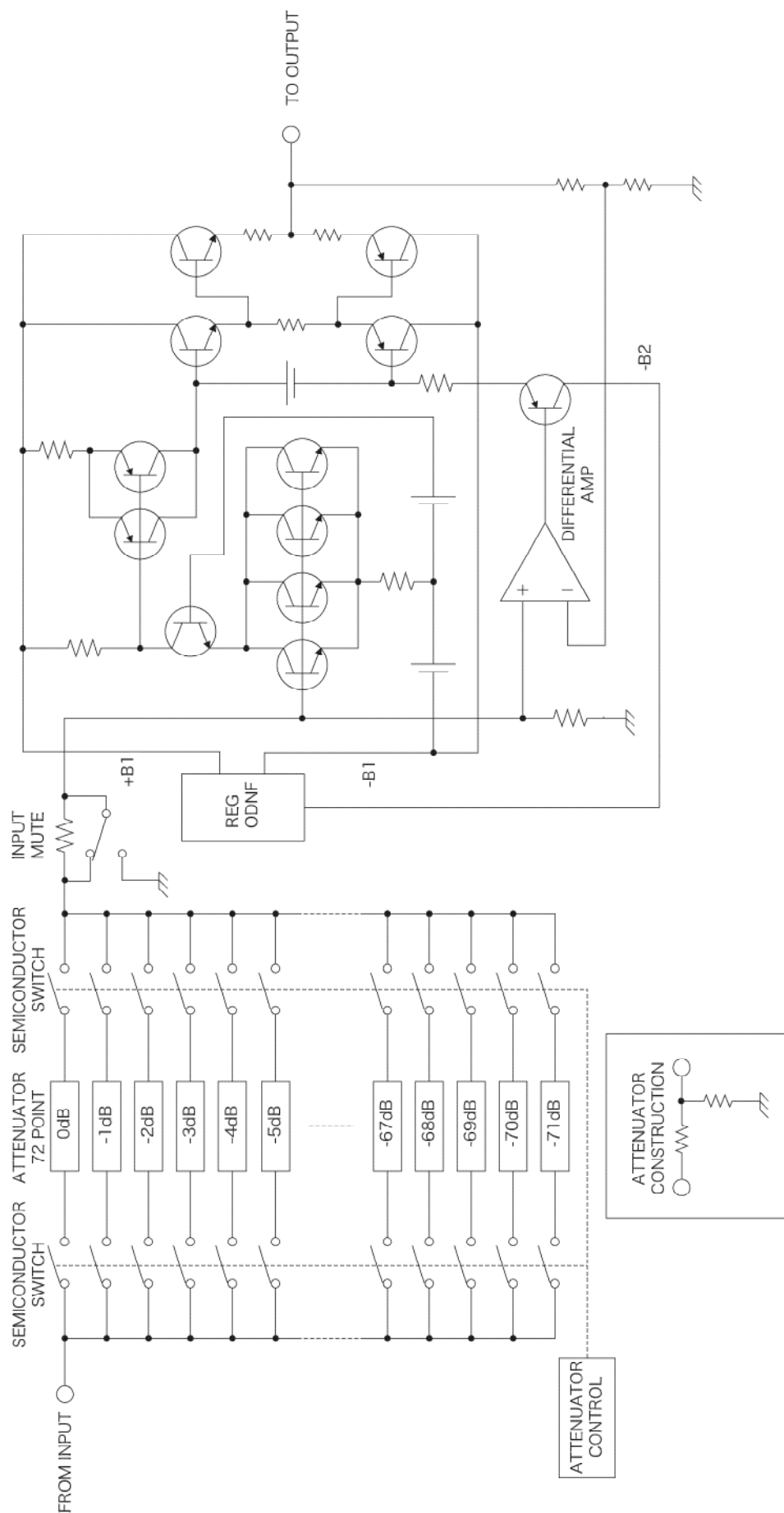
専用リモートケーブルは、ラックスマンのコントロールアンプとパワーアンプの接続以外に使用しないでください。本機のリモート出力がショートされるような端子に接続すると故障の原因となります。

過大入力からアンプとスピーカーを保護するために、本機と入出力機器を接続する場合は、本機のメイン電源スイッチを OFF にするか本機をスタンバイ状態にしてください。また、本機に接続する入出力機器の電源も OFF にしてください。接続完了後に正しく接続されていることを確認してから本機および入出力機器を動作状態にしてください。

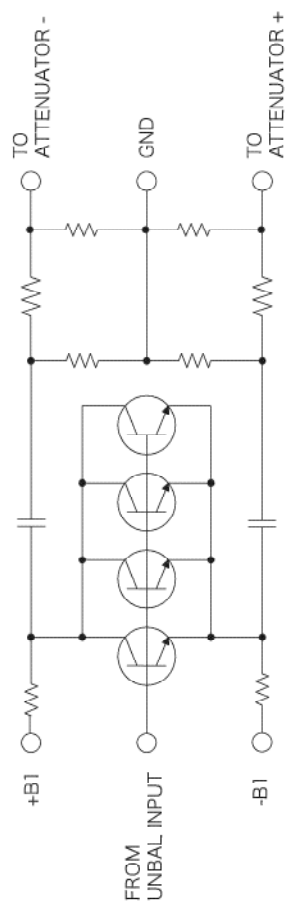
C-1000f BLOCK DIAGRAM



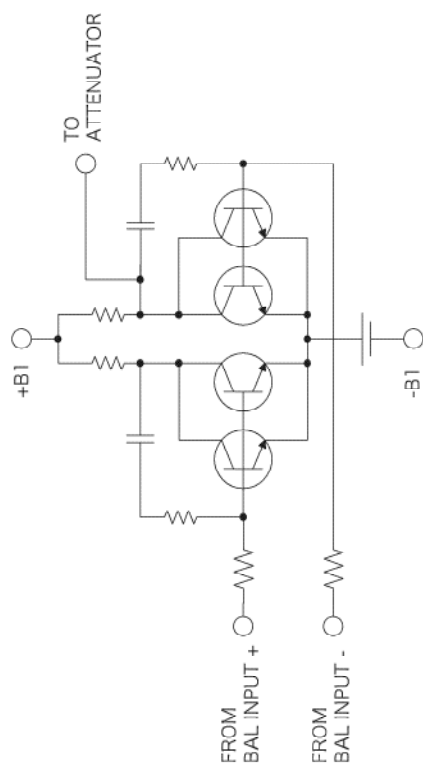
LECUA1000 (ATENUATOR+AMP) / EACH CHANNEL



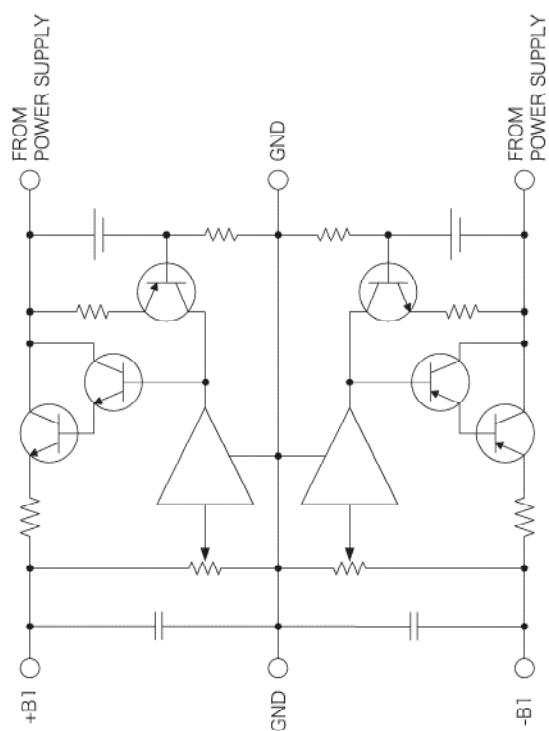
UNBALANCE TO BALANCE



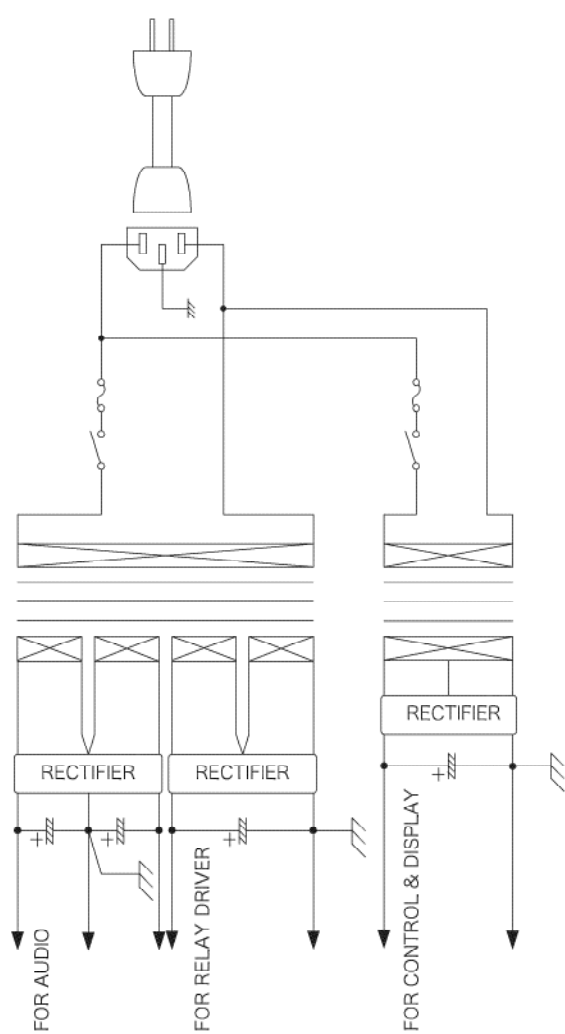
BALANCE TO UNBALANCE



REGULATOR FOR AMP



POWER SUPPLY



規 格

入力感度	LINE	334 mV / 1V 出力・1kHz・負荷 50 kΩ / GAIN 9.5 dB
	BAL LINE	334 mV / 1V 出力・1kHz・負荷 100 kΩ / GAIN 9.5 dB
最大出力	LINE	4.1 V / 1 kHz・負荷 50 kΩ・歪 0.1%
	BAL LINE	8.2 V / 1 kHz・負荷 100 kΩ・歪 0.1%
入力インピーダンス	LINE	50 kΩ / 1 kHz
	BAL LINE	100 kΩ / 1 kHz
	選択されていないLINE	33.5 kΩ / 1 kHz
	選択されていないBAL LINE	67 kΩ / 1 kHz
出力インピーダンス	LINE	510 Ω / 1 kHz
	BAL LINE	1020 Ω / 1 kHz
全高調波歪	LINE	0.0017 % / 20 Hz ~ 20 kHz・1 V 出力・負荷 50 kΩ
	BAL LINE	0.0007 % / 20 Hz ~ 20 kHz・1 V 出力・負荷 100 kΩ
周波数特性	LINE	+0, -0.1 dB / 5 Hz ~ 20 kHz / 1V 出力・負荷 50kΩ +0, -3.0 dB / 1 Hz ~ 118 kHz / 1V 出力・負荷 50kΩ
	BAL LINE	+0, -0.1 dB / 5 Hz ~ 20 kHz / 1V 出力・負荷 100kΩ +0, -3.0 dB / 1 Hz ~ 118 kHz / 1V 出力・負荷 100kΩ
S/N 比	LINE	124 dB (IHF-A) / 負荷 50 kΩ・歪 0.1%・-71dB
	BAL LINE	127 dB (IHF-A) / 負荷 100 kΩ・歪 0.1%・-71dB
付属品	電源ケーブル リモコン RA-10 単 4 乾電池 × 2 オーナーズマニュアル 保証登録書 安全上のご注意	
消費電力	28 W (電気用品安全法による規定) 2.3 W (スタンバイ時)	
電源電圧	AC 100 V (50/60 Hz)	
最大外形寸法	440 (W) × 134 (H) × 429 (D) mm	
重量	23 kg	

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの販売店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。が、ご容赦ください。

C-1000f の保証期間は、購入日より起算して 5 年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。

保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。後日、保証書を発送させていただきます。

保証期間内の修理お申し付けの節は、必ず弊社発行の保証書を添えて下さい。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けいたします。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。ひと通りご確認ください。

故障の原因がわからない場合は、弊社サービスセンター、もしくはお求めの販売店へお問い合わせください。

なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などを載くことがあります。

症 状	原 因	対 策
メイン電源スイッチを押しても電源が入らない。 スタンバイ・インジケータが点灯しない。	- 電源プラグがAC コンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。 - 電源プラグがAC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	- 電源プラグをAC コンセントへ確実に差し込む。 - 電源プラグをAC インレットへ確実に差し込む。
オペレーション・スイッチを押してもオペレーション・インジケータが点灯しない。	メイン電源スイッチがOFFになっている。	メイン電源スイッチをONにしてスタンバイ・インジケータを点灯させる。
電源が入り、動作状態になり、オペレーション・インジケータも青色に点灯するが、音がでない。	- 接続した入力端子と選択した入力設定があっていない。 - 接続した出力端子と選択した出力モード設定があっていない。 - 接続が確実に行われていない。 - ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターが絞り切られている。 - ミュート状態になっている。	- リアパネルの接続した入力端子もしくは音の聞きたい入力端子と同じ入力表示になるように入力設定をあわせる。 - リアパネルの接続した出力端子もしくは音の聞きたい出力端子と同じモード・インジケータが点灯するように出力モード設定をあわせる。 - 接続を確実に行う。 - ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターをお好みの音量に調節する。 - リモコンにあるミュート・スイッチを押してミュート状態を解除する。
音はでるが、音量が小さい。 片チャンネルだけ音量が小さい。	- プリセットにより音量が絞られている。 - パワーアンプのアッテネーターがONになっている。	- プリセットをお好みの音量に調節しなおす。 - アッテネーターをOFFにする。
ハム音 (ブーン、ジーというノイズ) がでる。	- 接続ケーブルのアース側が接触していない。 - 他機器の電源トランスからの誘導ノイズを受けている。 - 入出力ケーブルとスピーカーケーブルが電源ケーブルに接近しすぎている。	- 接続を確実に行う。 - 他機器から離して設置する。別系統のコンセントにつなぎかえる。 - 入出力ケーブルとスピーカーケーブルを電源ケーブルから離す。